

■イングランド北西部カンブリアの Cumbria Archive Service 収蔵史料

英国外交官による激動の時代への視点 第一次世界大戦からスペイン内戦まで British Diplomacy from the Unification of Germany to the Spanish Civil War, 1863-1939

第一次世界大戦とスペイン内戦、そして 1920 年代の米国を探る

Esmé Howard (1863-1939)は 20 世紀初頭に活躍した影響力のある英国の外交官でした。若い頃、彼はベルリンの英国大使の秘書官として働き、当時統一されたばかりのドイツの形成を目の当たりにしました。1900 年代には、クレタ島、ブダペスト、ベルンで様々な外交官としての職務を務め、1913 年から 1919 年の間はストックホルムに赴任し、主に第一次世界大戦中の通商封鎖外交を担当しました。彼の外交官としてのキャリアの最盛期は、1924 年から 1930 年までの間で、この時期に彼は成功を収めた駐米英国大使を務めました。1930 年に退職した際、ワシントンでの業績により貴族院に列せられました。

本コレクションには、Esmé Howard の魅力的で充実した人生の中で収集された膨大な資料が含まれています。これには、要人との大量の個人書簡、多くの通信文、覚書、彼が務めた多くの外交職に関連するその他の資料、彼の個人日記、そして彼の個人財産を記録したファイルが含まれます。そのため、本コレクションは第一次世界大戦中およびその後の英国外交について、説得力のある記録を提供しています。

「シチリアにおける心理戦部門の意見」に関する彼の文書は、その部門がどのように活用されたか、そして戦後もその部門の研究を一部継続することが良いアイデアかどうかを検討しています。外交官としてのキャリアの中で、Howard の日記には彼が様々な国で行った仕事記録されています。第一次および第二次ボーア戦争の間の南アフリカや、ギリシャがクレタ島の領有を求めた二度の戦争の間のクレタ島での仕事などが含まれています。Personal Records には、第一次世界大戦後のヴェルサイユ会議中の日記の抜粋も含まれています。また、Howard の仕事は、ラムゼイ・マクドナルド、セオドア・ローズヴェルト、ジョージ・バーナード・ショー、そして元アイルランド首相のリアム・コスグレイブをはじめとする、多くの外交関係者との書簡のやり取りにもつながりました。



大学・学術機関向け価格

FTE (学生数+教職員数)	3,000~4,999	5,000~9,999	10,000~19,999	20,000~29,999	30,001 以上
Archive 買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください				

※大学・学術機関向け IP 接続・同時アクセス無制限でのご利用となります。

※Archive 買い切りの**年間管理費 (Annual Hosting Fee)**は**不要**です。

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

トライアルも承ります!! 詳細お問い合わせは弊社まで

日本総代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
075(353)2093 FAX (353)2096
092(751)6956 FAX (741)0821

URL:<https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail:info@kyokuto-bk.co.jp





■ 8つのパートに整理されたアーカイブ

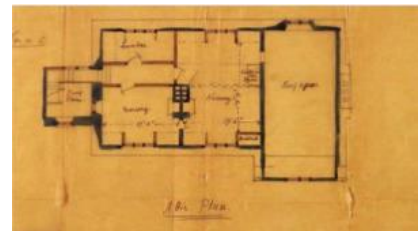
1. Personal Records

Howard の日記は、南アフリカ、クレタ島、スウェーデン、イングランド、ジュネーブ、ポーランド、マドリッド、ヴェルサイユといった彼のキャリアを追っています。ここには、芸術、英国政治、そしてレイクディストリクト(湖水地方)の保存に関する、書簡を通じて示される Howard の他の関心も記録されています。彼のキャリアに関する書簡は、軍での勤務や Ark Industrial Association での活動期間を網羅しています。



2. Estate Records

これらの記録の軸は、19世紀後半から20世紀初頭にかけてトリニダード・トバゴに所有していたゴムとカカオのプランテーション組合の発展にあります。Howard は不在地主として、プランテーションの管理者と定期的に通信を行っており、この結果、これらのプランテーションの運営に関する希少なほど詳細なアーカイブが残されています。他の記録には、1898年から1939年までのHoward家の家屋に関する詳細も含まれています。



3. General Letters Arranged Alphabetically

本パートに収録される書簡の大部分は、1936年に発生した様々なトピックに関するものですが、いくつかの繰り返し現れるテーマもあります。政治家や外交官からの書簡は多く含まれますが、Hilaire Belloc、Wilfred Scawen Blunt、Alfred Noyesら詩人との書簡のやり取りは意外性があり、目を引きまします。



4. General Letters Arranged by Date

1867年から1939年の日付のある一般書簡には、Howardが貴族院に列せられた際の祝辞の手紙が含まれています。



5. General Letters on Specific Themes

本パートの中心的なテーマは、英国政府の外務、英連邦、外交部門の関係者との Howard の個人的な書簡です。その他の書簡には、ラムゼイ・マクドナルド、セオドア・ローズヴェルト、ジョージ・バーナード・ショアに関連する内容が含まれています。また、ヴィルヘルム 2 世に宛てた草稿(未送信)も含まれています。



6. Diplomatic Career

本パートの文書の重要性は、取り上げられている国々の広範な範囲と議論されているテーマにあります。外交官としてのキャリアの中で、Howard はアイルランド、イタリア、ドイツ、クレタ島、アメリカ合衆国、オーストリア=ハンガリー帝国、スイス、スウェーデン、スペインの英国大使館に勤務しました。Howard はパリ講和会議にも出席しており、会議に関連する書簡や覚書とともに、ヴェルサイユ条約についての文書も収録されています。



7. Subject Files

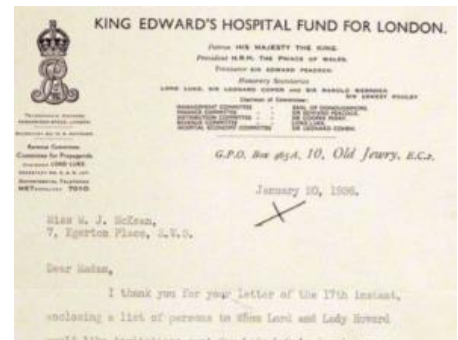
この文書群には、外交と平和交渉、マルタ問題に関する書簡および印刷された報告書、そしてカトリック問題に関する内容、という3つの主要なテーマが含まれています。外交と平和交渉に関しては、国際連盟の設立およびその規約違反を行った国に対する制裁に焦点が当てられています。また、ヴェルサイユ条約によって生じた外交上の特殊例として、ダンツィヒ自由市の問題も取り上げられています。マルタ問題に関する書簡は、当時英国政府とバチカンの間でこの英領植民地の政治的支配を巡って権力闘争が行われていた時期に焦点を当てています。

本パートの後半部分には、バチカンおよびカトリック教会との英国の関係、さらにメキシコ、ロシア、イタリアにおける宗教の自由に関する問題も記録されています。最後に取り上げられているテーマは戦争と軍縮です。初期の文書ではボーア戦争の終結が議論され、後期の文書では第一次世界大戦終了から1936年までの軍縮の推進に焦点が当てられています。



8. Printed and Pictorial Records

本パートの文書には多様なテーマが含まれており、主にHowardによる文学作品やその他の著作が最初に取り上げられています。その後、外交部、国際連盟、心理戦部門、バルト海研究所、西インド諸島王立委員会など、様々な公的機関からの公式出版物が続きます。また、新聞の切り抜きや写真も掲載されており、さまざまな性質のレポートを見つけることができます。Howardの学術的著作は政治や社会経済に関するエッセイ、外国訪問の記録、演説、書簡、記事、序文など、多岐にわたります。その他のテーマには、カトリック教徒の待遇、湖水地方の保存、野生生物の保護、その他一般的な雑多な内容が含まれています。



■BOAのご利用で日本国内に居ながら原資料を閲覧することが可能になります。印刷やダウンロードも可能なため、原資料へのメモやコメントの書き込みや線を引いたり、付箋を貼るなど柔軟な活用ができます。



British Online Archives の詳細お問い合わせは弊社まで



日本総代理店 **極東書店**

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 <https://www.kyokuto-bk.co.jp> E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp